

〔高等学校教育課〕

1. 卒業式

(1) 県立高等学校卒業生数 県立特殊学校卒業生数

性別	課程			男	92
	全日制	定時制	通信制		
男	12,060	728	62	女	104
女	11,403	570	178	計	106
計	23,463	1,298	240		
総 数	2 5 0 0 1 名				

(2) 卒業式開催期日

県立高等学校			県立特殊学校		
3月	分校		3月		
1日	82	3	9日	1	16日 1
2日	1	10	12日	2	18日 1
3日	2	1	15日	1	23日 1
4日		1			
計	85校	15校	計	7校	

(3) 県知事臨席校

須賀川女子高等学校

岩瀬農業高等学校

県議会議長臨席校

福島西女子高等学校

県教育長臨席校

坂下高等学校

会津農林高等学校

白河第二高等学校

2. 修学旅行

(1) 県立高等学校（分校、各校舎の延数を含む）

① 参加生徒数 25,534人 参加率 98.57%

② 行 先 （北海道以外は奈良・京都を含む）

行 先	校数	行先	校数	行 先	校数	行 先	校数
奈良・京都	28 (13)	姫路	25 (33)	四 国	24 (30)	北海道	6 (6)
伊 勢	13 (14)	岡山	9 (9)	その他	1 (1)	()は昨年度計	106

③ 日数 () は昨年の数

4泊5日 39校(24) 5泊6日 67校(82)

④ 経費 生徒1人当たりの平均額 22,411円

4 泊	4 泊 5 日	5 泊 6 日
最 高 額	23,825円	23,995円
最 低 額	20,243円	19,660円
平 均 額	22,186円	23,424円

特別活動の趣旨をじゅうぶん理解するとともに、各内容の指導を効果的に行い、児童生徒の自発的・自治的活動を助長するため、次の点を重点として指導の徹底を図った。

- (1) 指導計画の整備・充実を図る。
- (2) 指導体制の確立を図り、児童生徒が自主的に活動するよう指導の徹底を図る。
- (3) 各内容ごとの細指導の重点をあげ指導充実を図る。
- (4) 評価を適切に実施する。

2. おもな行事

(1) 小学校教育研究協議会 特別活動部会

① 研究主題

- 特別活動の全体計画を作成し、その問題点をどのように解決したらよいか。
- 効果的な学級指導は、どのようにすればよいか。
- クラブ活動を充実するために、指導の組織とそのあり方をどのように配慮すればよいか。

② 主 催

県教育委員会、関係市町村教育委員会
県小学校教育研究会

③ 期 日

地区 昭和48年8月中旬～下旬
県 昭和48年11月8日(木)～9日(金)

④ 会場と研究協議の内容

地区 各地区ごとに設定した16会場で、研究主題を中心
に研究協議を行った。

県 東和町立針道小学校

○ 11月8日(木)

学級指導、学級会活動の公開授業を中心に授業研究と研究主題について、研究を深める。

○ 11月9日(金)

研究主題について、各地区代表の研究発表と研究協議を行った。

(2) 中学校教育研究協議会・特別活動部会

① 研究主題

豊かな人間形成をめざして、生徒の自主的な活動を、どのように指導したらよいか。

② 主 催

県教育委員会、関係市町村教育委員会
県中学校教育研究会

③ 期 日

地区 昭和48年8月中旬～下旬
県 昭和48年10月16日(火)～17日(水)

④ 会場と研究協議の内容

地区 各地区ごとに設定した16会場で、研究主題を中心
に研究協議を行った。

県 福島市立福島第二中学校

○ 10月16日(火)

学級指導、学級会活動の公開授業を中心に授業研究と研究主題について、研究を深める。

○ 10月17日(水)

研究主題について、各地区代表の研究発表と研究協議を行った。